



情報(第77号)



令和2年1月20日

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2階
銀座社会保険労務士法人 代表社員 吉国 智彦
TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565
E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp
URL:<https://ginza-syaroushi.com/>

企業は人なり



1 ねずみ年生まれ

令和 2 年最初の銀改にあたって、「人」の活躍が企業運営、労働者の生活向上、ひいては日本経済の成長に不可欠であることを述べさせていただきます。

最初は、ねずみ年生まれの人の特徴や性格についてです。一般には、ねずみのように真面目にコツコツと働き、かつ、儉約家でもあるため、貯蓄ができます。一方、不要なものにはお金を一切使わず、ケチな奴とみられてしまうことがあります。勘は鋭く、ひらめきの能力を備え、環境への適応能力が高く、コミュニケーション能力が秀でているので、周囲の人を惹きつけます。

2 働き方改革の目指すもの

本年 4 月には、中小企業にも時間外労働の上限規制が適用されるなど（大企業は昨年 4 月から施行済）、働き方改革の施行が本格化していきます。

働く方々がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現し、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保が主要な目的です。

これまで日本人は、ねずみに負けず劣らずあくせく働くことで成長してきたのに、働き方改革はその良さを打ち消して墮落させる施策だとのご意見があります。勤勉に働く美德は維持しつつ、効率的な仕事とし、その改革を通じて日本経済の成長を追求することが働き方改革といえます。利害の対立などが生まれる部分もありますが、いずれにせよ法令となっています。効率的に働いて生産性を上げることについては、賛同いただけることでしょう。

目的は、労働者個人が主役のごとくになっているところ、企業（経営者）のご理解が欠かせません。

3 企業は人なり

昨年から、人材育成（研修）の仕事を受託しております。企業を維持成長させるためには、経営者一人が奮起したところで、一人は一人でしかなく、労働者と力を合わせる必要があります。

企業内で担当する仕事を着実にするだけで労働者は成長しますが、世の中は目まぐるしく変動し、しかも現在は、その速度が格段に早くなっていることから、多様な能力を有する労働者でなければなりません。

したがって、労働者成長＝企業成長であり、労働者が学ぶ、成長する、遣り甲斐が持てるという正の連鎖を生み出す運営が必要となります。

4 西郷南洲と山本五十六

古今東西、人材育成が重要であることは語られてきており、二つ紹介します。

西郷南洲

何程制度方法を論ずるとも、その人に非ざれば行われ難し。
人ありて後方法の行わるるものなれば、人は第一の宝にして、己れその人に成るの心が肝要なり。

(訳)

どんなに制度や方法を議論したところで、それを説く人物が立派でなければ、うまく行われまいだろう。立派な人あってこそ、いろいろな方法は行われるものだから、人は第一の宝であり、自分がその立派な人に成るよう心がけるのが大事なことである。

山本五十六

やって見せ 言ってみせて させて見て ほめてやらねば 人は動かじ
やっている姿を感謝で見守って 信頼せねば人は実らず
話し合い 耳を傾け 承認し 任せてやらねば人は育たず

実年者は、今どきの若い者などということを絶対に言うな。なぜなら、われわれ実年者が若かった時に同じことを言われたはずだ。今どきの若者は全くしょうがない、年長者に対して礼儀を知らぬ。道で会っても挨拶もしない、いったい日本はどうなるのだ、などと言われたものだ。その若者が、こうして年を取ったまでだ。だから、実年者は若者が何をしたか、などと言うな。何ができるか、とその可能性を発見してやってくれ。

5 自利利他

年末年始を利用して新 1 万円札の顔になる渋沢栄一氏の小説を読みました (童門冬二：渋沢栄一人生心意気に感ず)。

「商業上の真意義は、自利利他である。個人の利益はすなわち国家の富にして、私利すなわち公益である。公益となるべきほどの利益でなければ真の利益とは言わない」と述べられています。要するに人の役に立つ仕事をして報酬を得るべきとの意で、自身にも深く身に沁みます。

利他について強烈に説く方として稲盛和夫さんが随一です。「自分のためは後まわしにして他人のためを優先する。宇宙には利他の風が吹いている。よき心によってなされる行為には、かならずやよき結果がもたらされる。そういう心をもって仕事に従事することは、それぞれの人生という畑に幸せの種をまいてくれるものだ」(稲盛和夫：心)。利他によって京セラは急成長できたというのです。

労働者と企業とで力を合わせて、世に役立つ製品・役務の提供をすることを実践したいものです。

当法人では人材育成 (研修) の提案を行っています

745-0031 周南市銀南街 21 銀南ビル 2 階
銀座社会保険労務士法人 社会保険労務士 吉国智彦
TEL 0834-34-0567 FAX 0834-34-0565
E-mail:ginzasyakaihoken@iaa.itkeeper.ne.jp
URL: <https://ginza-syaroushi.com/>